

問1 世界の主要国の統計において、面積が約983万km²、人口が3億2412万人という規模を持ち、国内総生産（GDP）が17兆ドルを超えて世界最大級であるとともに、原油産出量も年間5億キロリットルを超える高い数値を示す国として、最も適切なものはどれですか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|--------|-------|--------|
| 1. アメリカ合衆国 | 2. カナダ | 3. 中国 | 4. ロシア |
|------------|--------|-------|--------|

問2 アメリカ合衆国の中央部に位置する中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、広大な土地を活用した大規模な農業が行われています。この地域のうち、中央部の南北に伸びる地帯でトウモロコシが、そのさらに北側や南側の地域で小麦が主に栽培されています。このように、それぞれの地域の気候や土壌などの自然条件に最も適した農作物を栽培する農業方式を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|---------|---------|--------|
| 1. モノカルチャー | 2. 地産地消 | 3. 適地適作 | 4. 二毛作 |
|------------|---------|---------|--------|

問3 アメリカ合衆国の中西部に広がるトウモロコシ地帯（コーンベルト）の気候的特徴について、より北西側に位置する小麦の栽培地域と比較した説明として、正しいものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温は高いが、年降水量は少ない。 | 2. 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が低く、年降水量は多い。 | 3. 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が低く、年降水量も少ない。 | 4. 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が高く、年降水量も多い。 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|

問4 北米における多国籍企業の活動と、メキシコの工業化の背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 自由貿易協定による関税の撤廃や軽減を活用し、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコへ工場を移した。 | 2. メキシコはカナダと国境を接しているため、北米全域への製品供給が容易であることから、多くの工場が集まっている。 | 3. メキシコ政府が労働者の賃金をアメリカ合衆国の水準まで引き上げたことで、技術力の高い多国籍企業がさらに増加した。 | 4. ブラジルなどの南米諸国との経済統合を優先するため、アメリカ合衆国の企業はメキシコから工場を撤退させている。 |
|--|---|--|--|

問5 アメリカ合衆国のサンフランシスコ周辺を示した地図において、この地域の産業の特徴として述べられた文として最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 豊富な鉄鉱石と石炭資源を背景に、古くから鉄鋼業が発達している。 | 2. 自動車産業の中心地であり、多くの自動車工場が集まっている。 | 3. ICT（情報通信技術）関連の企業や大学、研究所が高度に集中している。 | 4. 北緯37度以南の温暖な気候を生かし、綿花の栽培が盛んに行われている。 |
|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|

問6 北アメリカ自由貿易協定（USMCA）などを通じて経済的結びつきが強いアメリカ、カナダ、メキシコの3か国において、メキシコからアメリカへの移民流入が突出している背景として、適切な説明はどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. メキシコの賃金水準が北アメリカの中で最も高く推移しているため、アメリカの企業が安価な労働力を求めてメキシコ人を雇い入れている。 | 2. アメリカの失業率が上昇し続けて労働力が不足しているため、メキシコ政府が国策としてアメリカへの労働移動を推奨している。 | 3. アメリカの賃金が1時間あたり約29ドルであるのに対し、メキシコは約2.7ドルと大きな賃金格差があるため、高い賃金を求めて人口が移動している。 | 4. カナダの失業率が5～6%台で推移しており他の2か国より高いため、メキシコからの労働者が雇用を求めてカナダを避けてアメリカへ向かっている。 |
|--|---|---|---|

問7 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がり、先端技術産業の集中や人口の増加が著しい地域の名称として、最も適切なものを選びなさい。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|----------|-----------|-----------|
| 1. フィードロット | 2. サンベルト | 3. コーンベルト | 4. ラストベルト |
|------------|----------|-----------|-----------|

問8 農業従事者の数が日本とほぼ同程度であるにもかかわらず、耕地面積が約1億5000万ヘクタール、穀物生産量が約4億7000万トンに達するアメリカ合衆国の農業において、効率的に生産を行うために取り入れられている手法はどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 家畜の飼育と穀物の栽培を交互に行い、土地の肥沃さを保つ伝統的な混合農業 | 2. 家族中心の労働力により、一つの作物を手作業で育てる集約的な農業 | 3. 大型スプリンクラーによる灌漑など、広大な土地を少人数で管理する機械化 | 4. 都市近郊の限られた土地で行われる、出荷時期をずらした促成栽培 |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|

問9 アメリカ合衆国における「ヒスパニック」と呼ばれる人々の分布や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 19世紀後半にアジアから鉄道建設の労働力として移住し、現在は西海岸の都市部に集中している。 | 2. アラスカ州など北極圏に近い地域において、伝統的な狩猟や漁業を営みながら生活している。 | 3. メキシコなどの中南米諸国と地理的に近い南西部の州を中心に、高い人口割合を占めている。 | 4. かつての奴隷貿易の歴史的背景から、綿花栽培が盛んだった南東部の州に集中して居住している。 |
|--|---|---|---|

問10 アメリカ合衆国の農業において、降水量の少ない乾燥した地域でも安定した収穫を得るために、地下水などをくみ上げて大型のスプリンクラーで人工的に水を供給する仕組みを何というか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 適地適作 | 2. かんがい | 3. 等高線耕作 | 4. 二毛作 |
|---------|---------|----------|--------|

問11 アメリカ合衆国と日本の農業を比較した際、アメリカの農業就業者1人当たりの穀物収穫量が日本を大きく上回っている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---|
| 1. 農業従事者の人口が日本よりも大幅に少なく、1人あたりの作業負担が分散されているため。 | 2. 棚田などの傾斜地を有効に活用し、土地面積当たりの収穫量を最大化しているため。 | 3. 広大な土地で大型機械を効率的に使用する大規模農業が行われているため。 | 4. 二毛作や二期作を組み合わせることで、年間を通じて収穫回数を増やしているため。 |
|---|---|---------------------------------------|---|

問12 アメリカ合衆国の農業統計を分析すると、トウモロコシや小麦の生産量が多く、かつその生産量に対する輸出量の比率が他国に比べて極めて高いことがわかります。この状況を生んでいるアメリカ合衆国の農業の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 熱帯雨林を焼き払って農地を作ることで、短期間に特定の作物だけを大量生産し、輸出している。 | 2. 大規模な機械化を進めることで、国内需要を大きく上回る生産を行い、世界市場への輸出を重視している。 | 3. 人口が急増しているため、生産量のほとんどを国内で消費し、輸出に回せる余裕がなくなっている。 | 4. 伝統的な農法を維持し、家族単位での小規模な自給自足的な生産を重視している。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アメリカ合衆国	北アメリカ州に位置するアメリカ合衆国は、広大な国土と3億人を超える人口を抱える大国です。経済面では世界最大の国内総生産（GDP）を誇るだけでなく、資源大国としての側面も強く、近年の技術革新（シェール革命など）の影響もあり原油産出量は世界トップクラスの数値となっています。面積1位のロシアや人口1位の中国（またはインド）と混同しないよう、経済規模と資源量の両立という特徴を捉えることが重要です。
問2	答え 3 適地適作	アメリカ合衆国では、降水量や気温などの自然環境に合わせて、特定の農作物を大規模に栽培する体制が整えられています。トウモロコシが生産される「コーンベルト」や、その南北に広がる「小麦地帯」のように、土地の個性を最大限に活かした効率的な生産を行う仕組みが、広大な国土を持つ国々における農業の特徴となっています。
問3	答え 4 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が高く、年降水量も多い。	アメリカ合衆国では、それぞれの地域の気候や土壌に合わせて特定の農作物を栽培する「適地適作」が行われています。トウモロコシは成長に一定の温度と十分な水分を必要とするため、より北西側の内陸部に位置し、冷涼で乾燥している小麦地帯（プレーリーなど）に比べて、南東側に位置し温暖で湿潤な環境にある地域で盛んに栽培されています。
問4	答え 1 自由貿易協定による関税の撤廃や軽減を活用し、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコへ工場を移した。	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの三カ国間では、自由貿易協定（旧NAFTAや現在のUSMCA）によって関税が原則としてかかりません。これに加えて、メキシコの賃金がアメリカ合衆国に比べて安いという条件が揃ったことで、多くの多国籍企業が生産拠点をメキシコへ移転させ、そこで生産した製品を再びアメリカ合衆国などへ輸出する仕組みが定着しました。
問5	答え 3 ICT（情報通信技術）関連の企業や大学、研究所が高度に集中している。	サンフランシスコ郊外のサンノゼ周辺はシリコンバレーと呼ばれ、先端技術産業の一大拠点となっています。鉄鋼業や自動車産業は五大湖周辺（デトロイトやピッツバーグなど）、綿花栽培はかつての南部（サンベルトの一部）の特徴に該当します。
問6	答え 3 アメリカの賃金が1時間あたり約29ドルであるのに対し、メキシコは約2.7ドルと大きな賃金格差があるため、高い賃金を求めて人口が移動している。	北アメリカでは、アメリカの時間当たり賃金が約29ドルであるのに対し、メキシコは約2.7ドルという極めて大きな賃金格差が存在します。この経済的な格差が、より高い所得を求めてメキシコからアメリカへと移動する膨大な数の移民を生む主因となっています。USMCA（旧NAFTA）による経済の統合が進み、モノの移動が活発化する一方で、こうした賃金格差に起因する労働移動は、アメリカにおける不法移民問題やメキシコの労働力流出といった社会課題とも深く結びついています。
問7	答え 2 サンベルト	アメリカ合衆国の南部に位置する北緯37度以南の地域は、一年を通じて日照時間が長く温暖であることから、太陽の光が降り注ぐ地帯という意味で「サンベルト」と呼ばれます。かつてのアメリカの工業を支えた五大湖周辺の既成工業地域に代わり、現代のアメリカ経済を牽引するハイテク産業の拠点となっています。
問8	答え 3 大型スプリンクラーによる灌漑など、広大な土地を少人数で管理する機械化	アメリカ合衆国では、乾燥した地域でも大型のスプリンクラーを用いた円形農地（センターピボット方式）を導入するなど、大規模な施設・機械によって生産性を高めています。これにより、従事者数が日本と同程度であっても、圧倒的な面積と生産量を維持することが可能になっています。
問9	答え 3 メキシコなどの中南米諸国と地理的に近い南西部の州を中心に、高い人口割合を占めている。	ヒスパニックは、陸続き、あるいは距離が近いメキシコなどの中南米諸国から、より良い生活環境や仕事を求めてアメリカ合衆国へ移動してきた人々です。そのため、カリフォルニア州やテキサス州、フロリダ州など、メキシコ国境やカリブ海に近い南部・西部の州で、特に人口割合が高くなる傾向があります。
問10	答え 2 かんがい	乾燥した地域で農業を行うためには、外部から人工的に水を引く「かんがい」の設備が不可欠です。アメリカでは広大な農地を効率よく潤すために、巨大な回転式スプリンクラーを用いたセンターピボット方式などのかんがい施設が発達しており、これが大規模な農業経営を支える重要な要素となっています。
問11	答え 3 広大な土地で大型機械を効率的に使用する大規模農業が行われているため。	アメリカ合衆国の農業は、1家族や1経営体あたりの耕地面積が日本に比べて格段に広く、大規模農業と呼ばれます。大型のトラクターやコンバイン、航空機による農薬散布などを活用することで、少ない労働力で膨大な量の穀物を生産できる仕組みが整っています。そのため、農業就業者1人当たりの収穫量は日本（1人当たり約9トン）に比べ、アメリカ（1人当たり約148トン）の方が圧倒的に多くなります。
問12	答え 2 大規模な機械化を進めることで、国内需要を大きく上回る生産を行い、世界市場への輸出を重視している。	アメリカの農業は、広大な土地を大型機械で耕作する大規模経営が基本です。中国のような人口大国と比較すると、国内での消費量に対して生産能力が非常に高いため、生産された農産物の多くを輸出することができます。このため、アメリカは「世界の食糧庫」と呼ばれ、国際的な穀物価格にも大きな影響を与える存在となっています。選択肢にある焼畑農業は、主に熱帯地域で見られる伝統的な手法であり、アメリカの特徴とは異なります。